

「やまなし新事業応援投資事業有限責任組合」による投資について  
～6次産業化に取り組む企業への投資～

「やまなし新事業応援投資事業有限責任組合」（以下「当ファンド」といいます。無限責任組合員：山梨中銀経営コンサルティング株式会社）は、株式会社プロヴィンチア（甲府市、代表取締役 古屋浩）に対する投資を行いましたので、お知らせいたします。

なお、本投資は当ファンドの第3号案件となります。

1. 投資内容

- (1) 投資日 平成28年5月17日
- (2) 投資額 2千万円
- (3) 投資形態 第三者割当増資の引受

※事業内容や技術力、市場性の調査、及び面談による経営者の資質判断などから、成長可能性を総合的に判断し、投資を決定いたしました。

2. (株)プロヴィンチアの概要

- (1) 設立年月 平成26年12月
- (2) 資本金 3千5百万円（増資後）
- (3) 所在地 甲府市丸の内二丁目4番6号
- (4) 代表者 古屋 浩
- (5) 従業員数 7名（パート・アルバイト13名）
- (6) 事業内容 農産物及び食品の開発、生産、加工、販売、飲食店の経営

(株)プロヴィンチアは、白州・尾白の森名水公園『べるが』内の地域野菜レストラン『サラダボウル Kitchen 白州べるが』の運営や、甲府駅北口『甲州夢小路』内の小売店『葡萄屋 kofu』での地元食材を使用したレーズンサンドや葡萄ジュースなどの販売、及び地元食材を活用した土産商品、業務用商品の開発・製造・販売を行っております。

同社は、1次産業者である(株)サラダボウルと、2次産業者である(株)FT 山梨（現在は同社に合併）、3次産業者である(株)アルプスの共同出資により設立された会社です。

農業経営、食品開発・加工、流通販売のそれぞれのプロがそれぞれの強みを活かし、さらに相乗効果を発揮すべく有機的に結合した経営を行っていることが特徴といえます。

具体的には、レストラン『サラダボウル Kitchen 白州べるが』では、地元北杜市白州町の農家からの食材調達だけでなく、地元の調理方法を取り入れたメニューの開発提供や、イベントの企画などを通じて地域全体の活性化にも取り組んでおります。

また、『葡萄屋 kofu』で現在販売しているレーズンサンドには、半生の“レアレーズン”を使用しておりますが、この商品は、甲府市が地元の資源や技術、「甲府らしさ」といった個性を活かした特産品や加工品などの優れた商品を「甲府ブランド」として認定する『甲府之証』にも認定され、山梨の土産物・贈り物として人気を集めています。

当ファンドでは、同社の取組みが6次産業化のモデル事業として期待されること、また、同社の事業発展による雇用の増加、さらには、地域の優れた素材を徹底的に磨き上げ、新たな価値を付加した商品・メニューの販売を通じて県内経済の発展に寄与すると考えられることなどから、同社への投資を決定いたしました。

同社の第三者割当増資の一部を引受けることで資金面での支援を行うとともに、今後は同社の成長発展に向けて支援チーム（※）との連携により積極的に各種支援を行ってまいります。

※支援チーム：県内中小企業の経営革新支援を目的に、山梨県が設置した「中小企業サポート連携拠点会議」内に組成された創業・起業段階の支援に重点的に取り組むチーム

### 3. 当ファンドの内容

当ファンドは、山梨県、甲府・富士吉田両商工会議所と富士急行(株)、(株)山梨中央銀行及び山梨中銀経営コンサルティング(株)の県内民間企業3社の出資により設立された官民共同の投資ファンドです。

山梨県内に本社または事業所を有する企業を中心に、スタートアップ期やアーリーステージにある中小企業等に対する投資や育成を行うことにより、成長分野における創業や、成長分野への企業の参入を促進し、新産業の創出や雇用・県内総生産額の増加等による山梨県経済の活性化を図ることを主な目的としています。

当ファンドの管理・運営を行う無限責任組合員は、山梨中銀経営コンサルティング(株)が務めています。

- (1) 設 立 日 平成26年8月26日
- (2) 出資総額 3億1千9百万円
- (3) 投資金額 1回あたりの投資額は概ね5百万円から3千万円（1社あたりの累積投資額の上限は出資総額の10%）
- (4) 投資対象 「山梨県産業振興ビジョン」に掲げる5つの産業分野、11の産業領域を重点対象分野とし、主にスタートアップ期やアーリーステージにある山梨県内に本社または事業所を置く企業を中心といたします。

以 上